

助成事業実施報告書

団体名 ネットワーク・市民アーカイブ
代表者・役職名 氏名 杉山 弘

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

市民活動資料センター「市民アーカイブ多摩」の整備

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

市民活動資料(多摩地域を中心とした個人や団体が発行する通信・会報等)を収集、整理し、「市民アーカイブ多摩」で閲覧、公開します。図書館や資料館の収蔵物は時の経過とともに廃棄され、さらにいわゆる「市民資料」は収蔵対象ですらない場合も多いのです。ミニコミは生活者・当事者からの発信であり、問題解決の手がかりとなり得る存在です。さまざまな問題や課題に直面する人たちや社会問題の研究者にとって、他では入手できない希少な存在です。これら価値ある資料を積極的に活用し、法政大学大原社会研究所などと協同しつつ、長期的に充実した資料館として整備することを目的とします。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

定期的開館(毎週水曜と第2・第4土曜の午後1時～4時)を維持します。また、ファイリング済みミニコミ(1100タイトル以上)の新作資料を早期に公開できるよう、入力・配架作業を行います。さらにファイリング未完了のミニコミについては、漸次仕分け作業を進めます。図書館分類とは異なる、市民資料(チラシを含む)に対応した分類表を現在の社会および市民活動の状況に合わせた改訂に向けての検討を行います。開館から各種作業には人手及び経済的基盤が必要であるので、広報活動を積極的に行って、会員増やボランティア人材発掘を目指します。また、実地作業と講習により、資料館の運営に関わる人材を育成します。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

資料館の存在を知ってもらい、多くの人に現地に足を運んでもらうため、当会から積極的にDMを送るほか、関係者の独自の印刷物の発送時に当館のパンフレットや通信物を同封してもらいます。それらを見て首都圏外から訪れる人や、会員になってくれる方が増えています。また、毎回異なる講師を立ててのイベント、「緑蔭トーク」を開催し、多様な話題それぞれに関心を抱くお客さんの来館を期待しています。広大な庭に面し、緑に恵まれた立地で、市民活動に関する刊行物が並ぶ書庫や居心地のいい閲覧室を体験してもらえば、私たちの活動をご理解いただけることと思います。実際に来訪された方で会員になっていただいた例は、少なくありません。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

開館時から丸2年が経過し、施設や資料の整備状態は一定のレベルに達したと感じます。人手確保に苦勞する中での定期的開館(時には団体のための臨時開館)を継続してきた成果がようやく実りつつあります。資料については技能あるボランティアが獲得でき、新着資料の受け入れ・整理・配架の流れが安定して行えるようになりました。研修や新規ボランティアのための講習は、随時必要に合わせて実施できましたが、その結果をテキストとしてまとめるのは次年度に引き継ぎます。また幅広い来館者の方々と話をするにつけ、時代の状況を反映した分類表への改訂を進めたいと改めて感じます。最優先課題が人材確保であることは変わりませんが。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

市民活動資料センター「市民アーカイブ多摩」の整備

ネットワーク・市民アーカイブ

